

浅口市立寄島中学校 令和5年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和5年10月26日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科では「話す・聞く」に関する事項をよく理解している。 ○数学科では計算問題を得意とする生徒が多い。 ○英語科では選択問題や聞き取り問題がよくできている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では、「読む」・「書く」が苦手な傾向にある。 ▲数学科では図形に関する問題を苦手にしてしている生徒が多い。 ▲英語科ではまとまりのある文章や自分の考えを書くことが苦手な傾向にある。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分には、よいところがあると思っている生徒の割合が高い。 ○友達関係に満足している生徒の割合が高い。 ○地域の行事に参加し、地域や社会をよくするために何かしたいと思っている生徒が多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲読書する時間が短い生徒が多い。 ▲各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめることが苦手な生徒が多い。 ▲国語の内容を苦手と感じている生徒の割合が高い。

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語科では聞く、読む、書くこともよくできている。 ○数学科では計算がよくできている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科では知識が身に付いているが、読む・話す・書くことに課題がある。 ▲数学では活用問題に課題がある。 ▲2年生数学の図形、データの活用が苦手な生徒が多い。 ▲1年生の英語の読むことに課題がある。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画をたてて家庭学習ができている生徒の割合が高い。 ○英語の授業がわかるという生徒の割合が高い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲2年生ではメディアの利用4時間以上の生徒の割合が高い。 ▲2年生では落ち着いた雰囲気です授業に取り組んでいる生徒の割合が低い。

改 善 策 学 校 で の 取 組

- 授業づくり
 - ・生徒が自ら考え、主体的に取り組む活動を充実させるため、学びを委ねる場面の設定。
 - ・習得した知識を活用して学びを深める単元構成の設定
 - ・タブレットなどICT機器の効果的な活用
 - ・振り返りの重視
- 基礎学力の定着のための取組
 - ・凡庸的リーディングスキル向上プログラム
 - ・NIE(山陽新聞、読売新聞)
 - ・朝学習、朝読書の実施
 - ・放課後の補充学習
 - ・タブレットでの反復学習
 - ・単元テストの実施
- 人間関係づくり
 - ・ほめ言葉のシャワーの取組
 - ・コミュニケーショントレーニング
 - ・SELの実施
 - ・PBISの実施
 - ・i-checkによるアンケート結果の活用
 - ・授業での話し合い活動
 - ・「認めて ほめて 励ます」姿勢を大切にする
- 家庭学習の定着
 - ・家庭学習の手引きの活用
 - ・課題一覧表をタブレットで配付
 - ・生活ノートでの自主学習の提出
 - ・タブレットでの課題の提出

寄 島 学 園 で の 取 組

- ・「チャレンジ寄島学園」を長期休業明けに保・こ・小・中 で実施し、望ましい生活習慣の定着と家庭学習の習慣の定着に取り組む。
- ・小中で統一して作成した「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい学習習慣の定着を図る。
- ・学校運営協議会が主体となって漢字検定を年2回実施し、積極的な取組を促す。
- ・課題になっている「読解力」の育成に向けて、朝の学習の時間などを使って小・中学校ともに「NIE」や「リーディングスキル向上プログラム」に取り組む。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい家庭学習の習慣が定着するように声を掛けてください。
- ・普段から規則正しい生活習慣が身に付くようにサポートをお願いします。
- ・ゲーム機器やスマートフォンなどの情報端末機器の使い方のきまりを家庭で話し合い、ルールを決めてください。